

# 「夢があつてこそ前進」



SS 建築デザイン室有限公司  
(花巻市)  
代表取締役  
佐藤 さよ子

今振り返ると、私の人生はほんとうに恵まれていたと、感謝の気持ちで一杯です。

3人の子供を産んでから離婚し、なんの手職、技術もない私でしたが、まずは子供達と笑いながら暮らすこと、そしてお金は贅沢さえしなれば何とかなると、5歳、2歳、1歳の子供達を連れて実家に戻ってきました。幸いにも父、母が健在で、姉夫婦にも世話になりながら一時期は実家でともに生活することができました。雇用保険を頂きながら県立高等訓練校に入り、「建築製図科」で勉強できたことが建築の第一歩でした。

卒業し、私を雇ってくれた地元建築会社に感謝し、早く一人前の設計士になりたいと独学で2級建築士に挑戦。子供達と早く寝て朝4時に起きての勉強は、本当に充実していました。2級建築士に合格してからは、会社が外注していた確認業務の仕事をいただき、同じ女性仲間と男性の方々に負けないように夜の11時まで働

いた時もあり、早く覚えたい一心で帰るのも惜しんでの毎日でした。この時も母が子供達を見てくれたので安心して仕事ことができました。

その後も、子供達が大学に行きたいと言われてたら対応できるぐらいの収入を得たいと毎日勉強でした。しかし苦しくはありませんでした。それは夢があつたからです。

◇ ◇ ◇

7年間その会社で勉強させていただき、39歳で独立しました。そして、女性が建築で生きていくためには1級建築士にならなければ認めてもらえないと考え、日建学院に入り、夕方子供達の夕食を作ったあと勉強にでかけました。試験はさすがに難しく、1年目は失敗し、翌年も通学し、お蔭様で合格することができました。

仕事は身近な子供達の保育園の先生や学校の先生方、友達から頂き、順調に売り上げを伸ばすことができました。住宅の設計で一番大事にしたことは、家事を楽にする動線、子供達と

会話しながらの対面キッチン、整理整頓は随所に機能的な収納があること、そして前の会社で教えていただいた暖かい家、それらが子育ての方、高齢者の方にとって良い家ではないかと、子供達を育てながら感じた住宅造りでした。

完成見学会を開催すると、近所のお母さんが見に来て、「私もこんな収納が欲しかった」「こんなカウンターがほしかった」などと言って感激して帰られました。その後は紹介から紹介の人伝で仕事を頂くようになりました。

◇ ◇ ◇

当初は実家から頂いた土地に住宅と事務所を造りましたが、人通りがなく、別な土地を探し、その土地の地主さんに私の将来の思いをお話しし、土地購入のお願いをしました。「お金はあとでいいから」と言っていたいただき、モデルハウス兼自宅兼事務所を平成6年に建築し、お客様の喜ぶ家造りに社員4人とともに頑張りました。

2年目、土地代を支払う頃には、夢は膨らみ



本自社屋と社員のみなさん

ました。現場で余った廃材を利用して木工教室を開けば、まわりの方が喜んで参加するのではと考え、同じ地主さんに再度購入の願いをしました。幸いにもご快諾を頂き、その5年後の平成12年に木工教室、料理教室、ガーデニング教室などができる3階建ての今の事務所を建てる事が出来ました。

木工教室での作品が多くなったので、花巻温泉の入り口のシャッター通りをお借りして、手づくり木工の店「木っこでこせる」を8年前に開店し、4年前には作家さん方が作品を展示できるギャラリー「ココ・デ・アール」を、3年前には焼鳥屋だったお店を居酒屋に改築し

「あべーじゃ」をオープンしました。明るい商店街を造ることができ、60歳台の社員の皆さんが頑張ってお店を切り盛りしてくれています。自己資金も援助もない私は、資金の面で苦労することもありませんが、「贅沢はしない」そして「お客様を思つての家づくり」と「会社は大きくなくても、社員が喜んで働く環境があれば仕事は継続できる」ことを考えて、何とか苦しい時期を乗り越えることができました。

◆ ◆ ◆  
 昨今は、大手ハウスメーカーがどんどん岩手に展示場を造って入り込み、地元工務店が追いやられる状況になっており、何とかお客様のために頑張っている地場工務店同士が助け合つて、一か所に展示場を造れないものかと考え続けていました。幸い北上に移転した会社の花巻西大通りの跡地を購入でき、15年前からの建築仲間をつくる「THMネット99」の方々に呼びかけて、4社で9区画の分譲地内に展示場を建



花巻温泉商店街にオープンした「ココ・デ・アール」

てる事ができました。他県でも例が少ない、岩手県初の地場工務店総合展示場の完成です。

◆ ◆ ◆  
 大手にはない、建築後のランニングコストが少なく、実際の生活に合った設計のモデルハウスと言っていたいただき、沿岸、盛岡、一関方面からの来場者も多くなりました。岩手の風土を考え、各々の家族に合った住宅を提供したいという思いで、建築仲間と常に技術の向上のため研修に出かけたり、問題点を話し合ったり、共同でチラシを作つて配布したりと、地場工務店の良さを解つていただく活動をしています。

◆ ◆ ◆  
 現在わが社では、私を入れて5人の女性建築士が子育てをしながら設計、現場監督、引き渡しまでを行い、男性社員の中で頑張つて仕事をしてくれています。10年前に水道部を増設し、昨年は水道関係、下水、暖房配管の会社として「SSホーム設備」を立ち上げることができました。また、若い大工さんの育成が必要と考え、4年前からは4人の20才台の大工さんを雇用し育てています。

◆ ◆ ◆  
 実家に戻つた40年前には考えられなかった今に、「ありがたい」と思わずにいられません。3人の子供達も結婚し、近くに住んで正月には11人の孫に囲まれて、お年玉を一人一人に渡せる幸せに、両親、姉そして、まわりの多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

◆ ◆ ◆  
 人生には、頑張つていれば絶対助けてくれる人が現れると信じています。今度は助ける側になりたいと誓うこの頃です。